

平成19年8月1日発行



# 木津川市

## 議会だより

創刊号



### もくじ

2 ~ 3	議長挨拶、臨時議会	12 ~ 15	代表質問
4 ~ 5	本会議審議結果	16 ~ 25	一般質問
6 ~ 7	予算特別委員会	26	わたしの意見 広報編集後記
8 ~ 11	各常任委員会		

### 七夕まつり



# 臨時議会

括採決は問題 参与設置、そもそも213件の

反対

討論

年間12万円ではある

反対

討論

75歳以上のすべての人

反対

討論

3月12日の木津川市発足時の213件の市長職務執行者による専決処分の承認。

修正案を賛成全員で可決

3月12日の木津川市発足時の213件の市長職務執行者による専決処分の承認。

修正案を賛成全員で可決

京都府後期高齢者医療広域連合への加入。(75歳以上の高齢者を現行保健から分離。来年4月から実施)

賛成多数で可決



木津川市が発足（市役所本庁）

副市长定数条例の制定  
地方自治法の規定に基づき、木津川市副市长の定数を2人以内とする。

質疑において、議員から参与2人が在任している中で、副市长が2人必要なのかという質問があり、また、1人が適当であるとの意見が多くあつたために、議会から「副市长の定数は1人」とする修正案を提出した。

修正案を賛成全員で可決

政務調査費の交付条例制定。（議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派議員には月額1万円・無会派議員には7000円を支給）

賛成多数で可決

京都府後期高齢者医療広域連合への加入。(75歳以上の高齢者を現行保健から分離。来年4月から実施)

賛成多数で可決

有事のための国民保護協会や手数料値上げ、介護保険、国保の値上げサービス低下もあり、反対

賛成

村城 恵子

議員は平等であり、会派所属の有無で差別されるべきではない。一人あたりの金額を7千円に統一すべきである。

が、今後柔軟に対応し見直しも行う、ということなので、賛成。

政治には金がかかる。領収書の添付で正々堂々と使うべきだ。会派制が決まっているのだから、会派活動費の3千円は当然である。

高味 孝之

運営協議会のような被保険者の意思反映の場がら天引きし、医療給付を抑制するための制度で反対。

梶田 和良

それがあり、反対。

吳羽 真弓

公的年金特別控除や老年者特別控除の縮小でふつうでも国保税が引き上げられるときに、最高限度額を3万円も上げれば支払能力を超え、反対。

村城 恵子

国保税条例の一部改正課税最高限度額を53万円から56万円に変更。

賛成多数で可決

公的年金特別控除や老年者特別控除の縮小でふつうでも国保税が引き上げられるときに、最高限度額を3万円も上げれば支払能力を超え、反対。

宮嶋 良造

会派に属さない議員

賛成多数で可決

議会が開会され、議会三役や委員会構成を決定した。また、専決処分した条例の一括承認や、議案42件の採決を審議。副市长を2人にする条例は、1人による修正案を議会提案し、全員賛成で可決した。他の議案はすべて、承認・可決した。

5月9日・10日、臨時議会が開会され、議会三役や委員会構成を決定した。また、専決処分した条例の一括承認や、議案42件の採決を審議。副市长を2人にする条例は、1人による修正案を議会提案し、全員賛成で可決した。他の議案はすべて、承認・可決した。

夏本番を迎える、皆様方におかれてましては、お元気でお過ごしのことお慶び申し上げます。木津川市が誕生し、選挙で選ばれました議員26人は、皆様の期待

平素は、議会活動に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。木津川市が誕生し、選挙で選ばれました議員26人は、皆様の期待

皆様方から、多くのご意見を寄せていただき、ご意見をお願い申し上げ、ごあいさつといった

皆様方から、多くのご意見を寄せていただき、ご意見をお願い申し上げ、ごあいさつといった

から保険料を徴収。年金から天引きし、医療給付を抑制するための制度で反対。

吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 讓子造

代表 伸政会  
大炭 伊山  
西本 藤本  
範喜  
紀味枝  
宏子  
喜章

代表 公明党  
吳羽 真弓

代表 会派に属さない議員  
吳羽 真弓

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 讓子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 讓子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸明 孝克 浩和輝 千代子  
宏亮 幸治 之伊三 廣良雄

日本共産党議員団  
代表 島野 廣由  
酒森 岡城 惠良  
井弘一 让子造

代表 会派  
吉中 出阪 高倉 木片 梶尾 曾  
元谷 栗本 味村 岡田 崎我  
善裕 伸

企業立地促進条例	
反対	企業立地促進は必要。業場を設置する企業に対して、助成金の交付を行うため「木津川市企業立地促進条例」を制定した。一定の要件を満たせば事業場設置助成金、雇用創出助成金、操業支援助成金を交付する。
賛成	本市において本店または工場、研究所その他の事業場を設置する企業に対して、助成金の交付を行うため「木津川市企業立地促進条例」を制定した。
反対	助成金の限度額1億5千万円は高額。市長は限度なしの自治体もあると答弁。企業争奪戦のような施策は危うく、企業優先の本条例に反対。
賛成	富嶋 良造
賛成	深山 國男
賛成	伊藤紀味枝

県羽 真弓

## 人事案件

・大山 主一 山城町椿井	・森 好美 加茂町例幣	・中村 稔夫 南加茂台	・尾崎 廣子 市坂奈良道	・木村 武平 山城町綺田	副市長 今井 洋一 (59歳) 京都市左京区	人権擁護委員 ・杉本 博 木津町奈良道	選挙管理委員 ・中西 喜和美 木津川原田	選挙管理委員補充員 ・木村 武平 山城町綺田	選挙管理委員補充員 ・塚本 皓三 木津町奈良道	選挙管理委員補充員 ・植村 繁 木津町奈良道
・大山 主一 山城町椿井	・森 好美 加茂町例幣	・中村 稔夫 南加茂台	・尾崎 廣子 市坂奈良道	・木村 武平 山城町綺田	副市長 今井 洋一 (59歳) 京都市左京区	人権擁護委員 ・杉本 博 木津町奈良道	選挙管理委員 ・中西 喜和美 木津川原田	選挙管理委員補充員 ・木村 武平 山城町綺田	選挙管理委員補充員 ・塚本 皓三 木津町奈良道	選挙管理委員補充員 ・植村 繁 木津町奈良道
・大山 主一 山城町椿井	・森 好美 加茂町例幣	・中村 稔夫 南加茂台	・尾崎 廣子 市坂奈良道	・木村 武平 山城町綺田	副市長 今井 洋一 (59歳) 京都市左京区	人権擁護委員 ・杉本 博 木津町奈良道	選挙管理委員 ・中西 喜和美 木津川原田	選挙管理委員補充員 ・木村 武平 山城町綺田	選挙管理委員補充員 ・塚本 皓三 木津町奈良道	選挙管理委員補充員 ・植村 繁 木津町奈良道
・大山 主一 山城町椿井	・森 好美 加茂町例幣	・中村 稔夫 南加茂台	・尾崎 廣子 市坂奈良道	・木村 武平 山城町綺田	副市長 今井 洋一 (59歳) 京都市左京区	人権擁護委員 ・杉本 博 木津町奈良道	選挙管理委員 ・中西 喜和美 木津川原田	選挙管理委員補充員 ・木村 武平 山城町綺田	選挙管理委員補充員 ・塚本 皓三 木津町奈良道	選挙管理委員補充員 ・植村 繁 木津町奈良道
・大山 主一 山城町椿井	・森 好美 加茂町例幣	・中村 稔夫 南加茂台	・尾崎 廣子 市坂奈良道	・木村 武平 山城町綺田	副市長 今井 洋一 (59歳) 京都市左京区	人権擁護委員 ・杉本 博 木津町奈良道	選挙管理委員 ・中西 喜和美 木津川原田	選挙管理委員補充員 ・木村 武平 山城町綺田	選挙管理委員補充員 ・塚本 皓三 木津町奈良道	選挙管理委員補充員 ・植村 繁 木津町奈良道

## 木津川市初の予算決まる

6月定例会

6月定例会が、6月8日から27日まで20日間の会期で開会した。

平成19年度一般会計予算や特別会計予算など、議案22件・人事案件10件を審議し、全議案を可決した。

本会議初日に、副市長として、元京都府山城広域振興局副局長の今井洋一氏を選任。

## 平成19年度一般会計予算

平成19年度一般会計予算額は、207億8500万円で、平成18年度旧3町当初予算202億1000万円3千円と比較すると5億7497万7千円(2.8%)増額しました。

賛成多数で可決。

## 反対

企業誘致等に多額の税金を使い、財政難を理由に住民サービスカットや負担を強要している。「人権」の名で、利権に道を開く新たな予算は問題。

出票 村城 恵子

## 賛成

子育て支援の推進、企業立地の促進、コミュニケーションバスの運行など合併初年度予算として努力がみられるので、賛成する。

出票 伸幸

## 反対

14年ぶりの大幅な課税額引き上げ。所得控除額の減額で、支払い能力を超える負担増が予想される。暮らし・家計をきびしく圧迫し、反対。

出票 酒井 弘一

## 反対

基金の取崩しをしてでも、加入者健康保持増進策に努められ、また税負担の平準化や健全な財政運営に鋭意努力を期待し、賛成する。

出票 伸幸

## 賛成

新市事業計画を策定し、保険料の決定では所得段階区分を7段階を探用することにより、低所得者への負担軽減措置がとられ賛成する。

出票 伸幸

## 国民健康保険特別会計

予算総額47億4391万2千円。旧3町の当初予算の総額と比べると、14.5%増の予算。

19年3月末の木津川市国民健康保険における世帯数は、9676世帯、被保険者数は1万9331人。

「介護難民」が増えた。市は高齢者福祉手当の対象者の削減、在宅老人介護者激励金をなくした。

旧3町の実績に基づいて28億9300万円の予算。要支援1から要介護5までの認定者数は1634人。



新庁舎建設始まる

## 介護保険特別会計

新市事業計画を策定し、保険料の決定では所得段階区分を7段階を探用することにより、低所得者への負担軽減措置がとられ賛成する。

「介護難民」が受けられない。

市は高齢者福祉手当の対象者の削減、在宅老人介護者激励金をなくした。

## 反対

森岡 譲

新市事業計画を策定し、保険料の決定では所得段階区分を7段階を探用することにより、低所得者への負担軽減措置がとられ賛成する。

「介護難民」が受けられない。

## 反対

森岡 譲

新市事業計画を策定し、保険料の決定では所得段階区分を7段階を探用することにより、低所得者への負担軽減措置がとられ賛成する。

## 反対

森岡 譲

新市事業計画を策定し、保険料

# 予算特別委員会

6月18日・20日・21日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。19年度一般会計予算を審査し、賛成多数で可決した。

## 主な質疑

Q 初めての本格予算であるが、新市基本計画との比較では、地方交付税が減少し、基金繰入金が増加。歳出では人件費や物貲費、補助金等が増加している。合併のスケールメリットが見えない。合併協議での財政シミュレーションの基金残高見込みがすでに崩れているのではないか。

Q 税法改正により市民税は増加した。所得税と市民税の総額では変わらないが、ケースによっては税が増える住民がある。その救済策は。

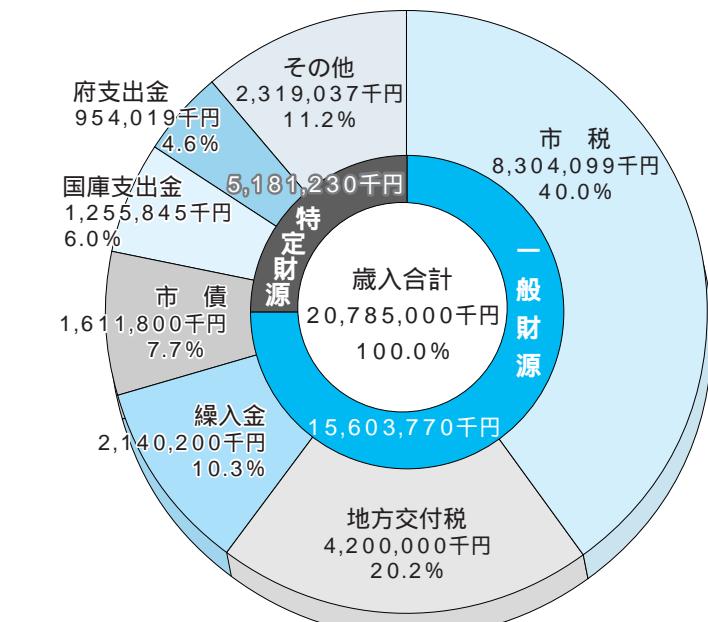
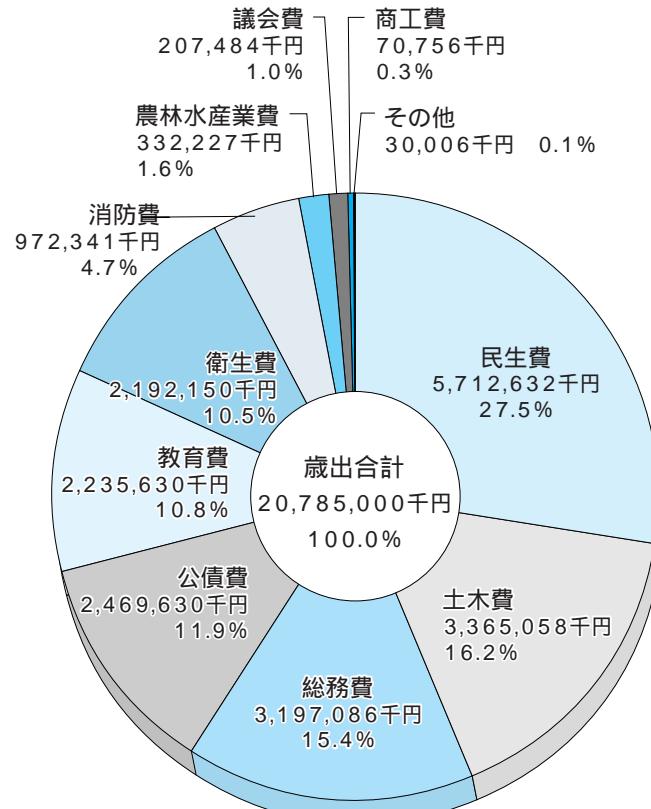
A 総務部長 合併により財政健全化がただちにできるわけではない。今後も事務事業の見直しを行い、行財政改革を進めよう。合併特例により算定されるので、多くもらえるように進める。また、繰り入れられた基金が戻るよう経費削減に努める。

A 税務課長 一日130人程度、電話や来庁による問い合わせがあり、丁寧な説明に努めている。18年の所得より、19年所得が大幅に減少した場合には、減額できるケースがある。今後住民への周知に努める。

A 財政課長 発生後40分で復旧したが、大変迷惑をかけた。原因はマザーボードの故障によるものである。今後起こらないような対策をするとともに、起こったとしても被害が最小限にとどめる対策を講じたい。

Q 3月末に基幹業務システムがダウンし市民に迷惑を受けた。原因は何であるか、今後の対応は。

## 一般会計予算構成



## 討論

Q 夏休み期間中の子ども居場所づくり事業の目的と内容は。

A 社会教育課長 施設の規模や設備にも違いがあり、施設料金の統一が難しい。今後検討する。不動川グランンドは、指定管理者制度で有料対応となる。

Q 在では、組織があるので予算化している。5月に実行委員会補助金等は、解散や同和対策事業がなくなる中で、予算化の必要はないのではないか。

A 山城地区市町村連絡協議会、人権政策確立要求実行委員会補助金等は、解散や同和対策事業がなくなる中で、予算化の必要はないのではないか。

Q 現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

A 予育て支援課長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

Q 民生費が旧3町の18年度予算と比較して、10億円以上、21・8%の増加となっているがなぜか。

A 予育て支援課長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

Q 出生57日目からの保育や一時保育が実施されている。正職員より嘱託職員、臨時職員が多いところがほとんどで、長時間もあり、臨時職員確保に苦労されていると聞く。

A 予育て支援課長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

Q 社会体育施設によって使用料が異なっている。合併後に検討するということだが。

A 予育て支援課長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

Q 生活環境部長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

A 生活環境部長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

Q 現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

A 予育て支援課長 4月現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

Q 現在、11の保育園で運営担当課としては正職が望ましいが、職員採用の見合せもあり、嘱託職員での対応としている。

# 委員会のうわさ

木津川市では、タールビズを進めています。

## 総合計画の策定は市民参加で

### 総務委員会

6月14日、本会議で付託された議案12件について、委員会を開催し審査を行った。

全議案可決

A 商工・農業者や福祉、教育の分野で代表者に限らず、広く推薦していただく。

年度にも開催する。

委員長	高味 孝之
副委員長	伊藤紀味枝
委員	吳羽 真弓
委員	森岡 譲
委員	大西 宏
委員	梶田 和良
委員	中谷 裕亮

企業立地促進条例の制定

賛成全員で可決

「国会議員の資産等の公開等に関する法律」に基づき、木津川市長の資産等の公開に関し必要な事項を定めるもの。

政治理論の確立のための木津川市長の資産等の公開に関する条例の制定

賛成多数で可決

A 他市と比較して少ない。幅広く意見交換ができる人数であると考えている。

Q 助成金限度額1億5000万円は高額すぎるのでは。

Q この施策は行政戦略であり、積極的に企業立地を促進し、地域経済の活性化を目的とするもの。

Q 本店または工場、研究所その他の事業所を設置する企業に対し、助成金を交付することにより、企業立地を促進し、地域経済の活性化を目的とするもの。

Q 市長以外の特別職の資産等も公開すべきでは。

Q 市長が必要と認めるもの。

A 特に予算化はしていない。しかし、20年度からの医療制度改革について、国保税も関係するので、制度改正の詳細が判明次第、担当各課をあげて、広報やホームページなどで周知体制を取っていくたい。

Q 開催回数は2回となつてているが充分か。

Q 簡素で効率的な市政を実現するため、市長の附属機関として委員会を設置するもの。

Q 19年度中は2回。20

Q 市長が必要と認めるため、市長の附属機関として審議会を設置するもの。

Q 市長が必要と認めるため、市長の附属機関として審議会を設置するもの。

Q 15人の委員では少ないのでは。

Q 15人の委員では少ないのでは。

## 子どもの医療費の無料化を拡大

### 厚生委員会

6月15日、本会議で付託された議案4件について、委員会を開催し審査を行った。

全議案可決

A 今年9月より、京都府の事業に従つて、入院にかかる医療費の無料化（個人負担200円／月）を6歳から12歳までに拡大するもの。

Q 現在の制度と9月以降とでは、負担はどうのようになるのか。

Q 3歳から6歳までの通院にかかる自己負担基準額8千円が3千円に減額になった部分と

Q 予算総額は47億4391万円。予算額は47億4391万円。

Q 1万2千円。

Q 20年度からの制度改正で、65歳以上は年金から国保税を特別徴収されるが、その周知・啓発についての予算措置はされているのか。

Q

市立小学校13校（木津7校・加茂4校・山城2校）、市立中学校4校（木津2校・加茂・山城各1校）の視察を行い、現状と課題について教育委員会と協議を行った。	現地の確認では、新しく建てられた州見台小学校と市内唯一の木造校舎である恭仁小学校や上柏小学校、南加茂台小学校、木津中学校、山城学校給食センターにおいて、校長等の現場管理者から説明を受け、現状を確認した。	視察終了後、教育委員会と協議を行った。協議は、さまざまな課題がある。
文教常任委員会	6月28日、閉会中の委員会を開催し審査を行った。	
委員長 倉 勝伊 副委員長 島野 均 吉元 善宏 中野 重高 酒井 弘一 三条 孝之 片岡 廣		
今後、文教委員会と市教育委員会の果たす役割は大きく、子どもたちの教育の充実に向けてあらゆる対策を検討する。		

## 教育施設の充実に向けて市立学校を視察

### 文教常任委員会

6月28日、閉会中の委員会を開催し審査を行った。



## 一部事務組合議会

一部事務組合は市町村の事務の一部を共同処理するため設けられている。  
(木津川市が属する組合は6団体。)

加茂笠置組合議会議員	
織田 廣由	
梶田 和良	
酒井 弘一	
深山 國男	
阪本 明治	
山本 喜章	
片岡 廣	

国民健康保険山城病院組合議会議員	
織田 廣由	
尾崎 輝雄	
梶田 和良	
宮嶋 良造	
倉 勝伊	
深山 國男	
西岡 政治	
中谷 裕亮	

相楽中部消防組合議会議員	
伊藤 紀味枝	
島野 均	
出栗 伸幸	
七条 孝之	
森岡 讓	
中野 重高	
吉元 善宏	
木村 浩三	

京都府後期高齢者医療広域連合議員	
曾我 千代子	

相楽郡西部塵埃処理組合議会議員	
吳羽 真弓	
大西 宏	
村城 恵子	
高味 孝之	

相楽郡広域事務組合議会議員	
炭本 範子	
酒井 弘一	
阪本 明治	
山本 喜章	
木村 浩三	

## 水道料金統一の検討は9月から

産業建設委員会

6月13日、本会議で付託された議案4件について、委員会を開催し審査を行った。

**全議案可決**

簡易水道事業特別会計 予算
予算総額は1億389万3千円。
Q 水道水を京都府から1万2千トン買つているが、2千トン弱が余っている。
A 府の条例では基本水量の見直しができるところになっている。木津川市、京田辺市、精華町あわせて3万6千ト

A 審議会を9月頃に立ち上げ、その中で検討する。
Q 水道水を京都府から1万2千トン買つているが、2千トン弱が余っている。
A 府の条例では基本水量の見直しができるところになっている。木津川市、京田辺市、精華町あわせて3万6千ト
Q 水道水を京都府から1万2千トン買つているが、2千トン弱が余っている。

給水原価の低減にかけること』を委員会の意見として付けた。
Q 水道料金の滞納額は、旧木津町40000万円、旧加茂町15000万円、旧山城町30000万円で、総額58000万円程度。
A 水道会計の改善は企業努力や料金値上げでは解決しない。行政と議会で京都府に対し、基本水量の見直しを訴える必要がある。
Q 水道会計の改善は企業努力や料金値上げでは解決しない。行政と議会で京都府に対し、基本水量の見直しを訴える必要がある。

賛成全員で可決
A 仮生寺や井平尾など、6工区を予定している。
Q 瓶原地区の配水管布設替の工事予定は、
A 佛生寺や井平尾など、6工区を予定している。
Q 瓶原地区の配水管布設替の工事予定は、

## 公共下水道事業特別会計 計予算

水道事業会計予算

Q 収支の改善を図るために努力が必要だ。

A 獎励金の交付や水洗化率の向上に努力が必要だ。

Q 一般会計からの繰入れが多く問題だ。基金を充當すべき。

A 都市再生機構分は目的基金としているので充當できない。

Q 加茂地域の瓶原地区の事業認可はいつごろを考えているのか。

A 市の下水道計画を作成するので、その中で検討する。

Q 水道料金の滞納額は、旧木津町40000万円、旧加茂町15000万円、旧山城町30000万円で、総額58000万円程度。

Q 水道料金の統一を考えているのか。

水道事業会計予算
Q 水道会計の改善は企業努力や料金値上げでは解決しない。行政と議会で京都府に対し、基本水量の見直しを訴える必要がある。
A 市長を先頭に府との話し合いを進める。
Q 水道会計の改善は企業努力や料金値上げでは解決しない。行政と議会で京都府に対し、基本水量の見直しを訴える必要がある。
Q 水道会計の改善は企業努力や料金値上げでは解決しない。行政と議会で京都府に対し、基本水量の見直しを訴える必要がある。





質問 老年者控除の廃止や年金控除縮小で、非課税世帯から課税世帯に変わる対象者は何人か。収入は増えないのに非課税から課税に変わり、介護保険料や国保税が大幅に上がり、くらしを直撃している。負担ばかりが増えてはくらしていけない。

質問 旧木津に合わせた保育料だが、旧加茂では、課税額の少ない世帯の保育料が、年間7万2000円も増加する。子育て支援逆行している。

（市長）非課税から課税になった方は約100人。少子高齢化社会へむけ財源確保に必要な措置で、国保税も介護保険料も2年間の激

質問 市長のマニフェストには協働という言葉がよく出てくる。行政の側が住民から信頼される事から始まると思う。旧3町からの要望書の取扱いは住民から理解を得ているのか。

（市長）旧3町からの要望書は約1000件を超えている。総務課での受け取り内容については、該当の課に照会をかけ期限付きで回答提出を受け一括取りまとめての上、各行政区に回答している。内容は現場の状況確認等を行い、すぐに対応が必要なもの、予算措置を要するもの、要望に添えないもの等を整理して

質問 各行政区に十分に理解をいただけるよう回答している。また、単独要望は該当課から直接回答している。提出された要望書は全て整理をし保存している。要望書を集約出来る担当を設置することについては、旧3町の要望事項を整理し、最善の策を検討していく。

（教育長）耐震診断は100%実施している。改修工事が必要なのは16棟あり、早急に改修工事を実施し安全な学校施設となるよう進めている。木造校舎は耐震診断の方針は現時点ではないが今後つめていきたい。



学校の安全対策の充実を



Q 増税から市民の命とくらしを守れ  
A 少子高齢化で財源確保の課税必要



村城 恵子 議員

質問 老年者控除の廃止や年金控除縮小で、非課税世帯から課税世帯に変わる対象者は何人か。収入は増えないのに非課税から課税に変わり、介護保険料や国保税が大幅に上がり、くらしを直撃している。

（市長）変緩和特例措置がある。

質問 府の助成枠も広がり、入院が小学校卒業まで無料になる。

（市長）清掃センターは、幅広い観点から選択肢を検討していきたい。

（市長）清掃センターは業者委託で、定期発を強化する。産廃投棄は業者委託で、定期的不法投棄撤去を実施する。

（市長）憲法を守ることは当然。憲法を変えることは別の問題。事業取り組みは意見を参考にしたい。

（市長）国保税滞納者264件に納付誓約や分納で、半年間の短期証を発行した。半年後に滞納しているなら、保証証の返還を求め資格証明書発行を検討。

（市長）小学校卒業まで無料にできないか。園部町が高校卒業まで、久

（市長）財政的に市独自の施策は難しい。

（市長）清掃センターは、設候補地はどこか。カン・ピン一緒に収集で、旧加茂・山城の分別意識が混乱した。

（市長）憲法を守ることは、憲法を暮らしに生かそうと考えている。憲法を守る立場にある市長の考えは、今こそ平和事業の具体化が必要。

（市長）介護保険料や国保税が大幅に上がり、くらしを直撃している。

（市長）小学校卒業まで、通院も小学校卒業まで無料になつた。

（市長）清掃センターは、設候補地はどこか。カン・ピン一緒に収集で、旧加茂・山城の分別意識が混乱した。

（市長）産廃投棄が後を絶たず防止のバトロールが必要。

（市長）憲法を守ることは、憲法を変えることは別の問題。事業取り組みは意見を参考にしたい。

（市長）収納している。明書発行を検討。

（市長）小学校卒業まで、通院も小学校卒業まで無料になつた。

（市長）清掃センターは、設候補地はどこか。カン・ピン一緒に収集で、旧加茂・山城の分別意識が混乱した。

（市長）産廃投棄が後を絶たず防止のバトロールが必要。

（市長）負担ばかりが増えてはくらしていけない。

（市長）国保税は滞納すると保険証を取り上げる方針がでている。命にかかる問題で、実態を把握すべき。市独自の軽減も必要。

（市長）財政的に市独自の施策は難しい。

（市長）清掃センターは、設候補地はどこか。カン・ピン一緒に収集で、旧加茂・山城の分別意識が混乱した。

（市長）憲法を守ることは、憲法を変えることは別の問題。事業取り組みは意見を参考にしたい。

（市長）負担ばかりが増えてはくらしていけない。

（市長）国保税は滞納すると保険証を取り上げる方針がでている。命にかかる問題で、実態を把握すべき。市独自の軽減も必要。

（市長）財政的に市独自の施策は難しい。

（市長）清掃センターは、設候補地はどこか。カン・ピンと一緒に収集で、旧加茂・山城の分別意識が混乱した。

（市長）憲法を守ることは、憲法を変えることは別の問題。事業取り組みは意見を参考にしたい。



打越台に代わる清掃センターは

**Q** 旧加茂町では、自家給食の存続と泉川中学校の自家給食実施を求める請願を、全議員賛成で採択している。給食は、手作り・行事お弁当・アレルギー対応食など優れている。存続と実施を。

**A 市長** 当面、自家給食の存続する。泉川は存続する。泉川

**Q** 加茂の赤田川は、上流の養豚場が原因で汚れている。京都府や奈良県に強く働きかけ、全面解決に乗り出すべき。養豚場は存続すべき。市は告発すべき。

**Q** 木津川台は、近鉄からの基金（現公共施設整備基金）で、梅美台の信号機・交番設置を検討中。

**A 市長** 現場に行き、状況の認識はしている。法的に告発できるかを検討中。

**A 市長** 現場に行き、信号機の設置を早急に認めていた信号機の寄付を今は認めていないので、なかなか難しい。交番は光科学館付近で、京都府警に要望している。

## 加茂の優れた自家給食の存続は当面存続する



村城 恵子



来年4月から校区が変更（木津第二中学校）



格差のない市の発展を（山城町地内）

**Q** 旧加茂町では、自家給食の存続と泉川中学校の自家給食実施を求める請願を、全議員賛成で採択している。給食は、手作り・行事お弁当・アレルギー対応食など優れている。存続と実施を。

**A 市長** 当面、自家給食の存続する。泉川は存続する。泉川

**Q** 加茂の赤田川は、上流の養豚場が原因で汚れている。京都府や奈良県に強く働きかけ、全面解決に乗り出すべき。養豚場は存続すべき。市は告発すべき。

**Q** 木津川台は、近鉄からの基金（現公共施設整備基金）で、梅美台の信号機・交番設置を検討中。

**A 市長** 現場に行き、信号機の設置を早急に認めていた信号機の寄付を今は認めていないので、なかなか難しい。交番は光科学館付近で、京都府警に要望している。



自家給食で存続を（南加茂台小学校）

## マニフェストの取り組みは実践可能なプランづくり



伊藤紀味枝

**Q** 「放課後子どもプラン」を夏休み限定で12校に試行するが、児童の活動場所は児童クラブは登録制だが希望児童の調整は。下校時の安全面は。費用負担はあるのか。運営委員会はどの様に。

「木津川市次世代育成支援行動計画」はいつか。今年の重点施策は。

**A 市長** 空き教室を使用予定、6年生まで拡大・留守家庭児童、保護者が迎える。費用負担は府と国の回答待ち。相楽台小学校区をモデル校区として各関係者の協力を得て実践可能なプランづくり。平成21年度までに見直し、旧3町の整合性を図る。保育所待機児童のゼロを目指す。

**Q** 市民意識の融合を図るためにも、木津川市まつりなどの実施は。各種イベントや旧3町の伝行事などの対処は。旧3町のまつりは現時点

での一本化は困難、関係団体と調整し進める。伝行事も含めて文化財等の豊富な資源の情報をホームページや広報で発信する。

**A 市長** 市民の一体性の確保が大事、旧3町のまつりは現時点

**Q** 中心部と周辺におけるサービスの格差は生じないか。3町融合の具体的な説明を。

**A 市長** 地域審議会を設置し、皆様のご意見を参考しながら市政を進めていくことになつ

ております。特定地域にこだわることなく、バランスのとれたまちづくりができるものと考えている。木津川市総合計画を策定し、市民の皆様、議会行政の知恵を結集し、意見を出し合い、実現に向けて進んでいく。また、

市民の皆様と一緒にイベントに取り組み、新しい市としての一体性を確保する。これも融合の一つのきっかけになると考

**Q** 知恵を結集し格差のない町づくり

**A 市長** 知恵を結集し格差のない町づくり

木津川台地区の校区変更具体化は来春の新入生から木津第一中学へ



大西 宏

**Q** 木津川台地区の中学校区変更を検討し、方針を決めるとしていたがその具体化は。

**A 市長** 現校区の木津中学校は木津川台、梅美台、州見台の人口増により、今年度生徒数は706人となり限界に近い。一方、木

津第一中学校は生徒数50人で横ばいである。また、雨天通学に巡回バス利用の便宜を。直行の路線を望むが、暫定的にも山田川駅で乗り継ぎやすいダイヤ編成や、乗り継ぎでも100円の通学優遇策を。

**A 教育長** 中学校間の生徒数を平準化するため、校区変更が必要と考える。

そのため来年4月から木津川台小学校区の新中1年生より、木津第二



七条 孝之

巡回バスの運行は、公共交通の空白地帯の解消目で運行しているので、通学を第一にルート変更や運行時間変更を直ちにすることは困難がある。

現行ルートで乗り継ぎや通学対応料金設定ができるのか、検討する。



大西 宏

中学校へ校区変更をする。2学期早々に細部を表明できるように進める。

巡回バスの運行は、公共交通の空白地帯の解消目で運行しているので、通学を第一にルート変更や運行時間変更を直ちにすることは困難がある。

現行ルートで乗り継ぎや通学対応料金設定ができるのか、検討する。



相楽台児童会

**Q** 旧加茂町では、自家給食の存続と泉川中学校の自家給食実施を求める請願を、全議員賛成で採択している。給食は、手作り・行事お弁当・アレルギー対応食など優れている。存続と実施を。

**A 市長** 当面、自家給食の存続する。泉川は存続する。泉川

**Q** 加茂の赤田川は、上流の養豚場が原因で汚れている。京都府や奈良県に強く働きかけ、全面解決に乗り出すべき。養豚場は存続すべき。市は告発すべき。

**Q** 木津川台は、近鉄からの基金（現公共施設整備基金）で、梅美台の信号機・交番設置を検討中。

**A 市長** 現場に行き、信号機の設置を早急に認めていた信号機の寄付を今は認めていないので、なかなか難しい。交番は光科学館付近で、京都府警に要望している。



自家給食で存続を（南加茂台小学校）





**A 保健福祉部長** 病後児保育の実施を。  
院は小学卒業まで拡大。通院は現状のまま。

**Q 成拡大、通院小学3年までに。** 妊産婦健診の公費負担を5回に拡大。マタニティマークの配付を。

- 細動器(マーケット)を全小中学校に
- AED(自動体外式除細動器)を全小中学校に
- AEDを全小中学校に
- 木津川台地区に
- 号機を。
- Q
- AEDを全小中学校に
- 検討する。
- 医療機関等と協議して
- マーケットの意義を考え検討する。

役所内で、ぞうりばき  
で、非常時どうするか。  
**A 市長公室長** 強く公安委員会に  
要望する。  
19年度に泉川中学、南  
加茂台小学校に設置予定。  
服装関係については、  
十分指導徹底する。

Q ニューバスの早期改善を。特に遅れている山城福祉バスは。  
A 市長公室長 山城病院行きは、3町バス見直しの時に検討する。

新生木津川市の観光は 木津川市独自の特徴ある観光	
<b>Q</b> 新生木津川市として観光発展のため地元商工会、地元産業、農業と地元住民が一体となり木津川市独自の観光事業に持つていき、自然環境豊富な土地、多くの史跡や文化財、伝行事も取り入れ、地域ボラン	<b>A</b> 市長 観光ティアの力を借りて、PRをしてはどうぞ
川市独自の観光振	源は文化財であり、そこに住む情緒が必要不可

(仮称)「くるりんバス」の運行を  
早期に事前準備に取り組む

**Q** 市長の思いである  
旧3町の融合と格差のないまちづくりのため、最初に取り組むべき課題は、市役所を核にJR棚倉駅、加茂駅、木津駅、近鉄新祝園駅を結ぶ(仮称)「くるりんバス」の運行である。バス運行に充実に向け、検

**A** 市長 対する市長の考  
面旧加茂町・山市役所へ2便程入れは。

西岡 政治

Q 旧山城町時に質問した国道24号及び旧木津町山松川以東の国道163号沿いのインフラ整備の具体的計画は。

A 建設部長 国道24号は、現在国道歩道部への排水路埋設を協議中、上位計画の検討と合わせインフラ整備計画を策定する。旧163号沿いは、現時点でのインフラ整備を行なう考えはない。

そのため、旧3町のバス運行の現状と問題点の把握、近隣市町の現状、採算性、具体的運行計画の検討等早期に事前準備に取り組む。しばらくお待ち願いたい。

Q 現在対象児童1年 ～4年生まで、運営時間は平日は夕方6時 まで、休日は午前8時半～6時までとなっている が、対象児童の拡大、運営時間の延長はできない か。		A 市長 最近の社会情勢から放課後児童クラブに対する期待や要望 が大きくなっている。保護者の就労等の状況から 時間延長や対象学年の拡大の必要性は充分理解している。しかし、施設面
また、本年、試行として「放課後児童プラン」を実施するが、この導入		

や人的確保・安全面と多くの課題があり慎重に検討していく。また、新しく創設された「放課後児童プラン」は、夏期の放課後児童クラブを対象に学年を6年生までに広げ、今後の放課後の児童のあり方を検討する「放課後子どもプラン運営委員会」を相楽台小学校のモデル校として行なう。皆さんの想いを理解し、前向きに検討していきたい。

必更生之理解

倉直伊



# わたしの 意見

このコーナーへの投稿を、お待ちしています。

## 防災雑感



井上 一雄さん

どもたちは育まれ巣立つて行つた。  
我が子を育ててくれた地域に、少しでもご恩返しをと、長年培つた防災の知識を活かして動き回つてゐるうちに、いつの間にか高齢者になつた。  
木津川市誕生で、地域も新たな一步を踏み出したが、現状認識を誤ることのないよう、公害ならときれいな空気と文化財に恵まれた環境下で、子で、老骨に鞭打つ所存。

## 木津川市議会だより

創刊号

2007  
8. 1

発行／議会事務局庶務係(加茂支所3階)  
TEL:0774-76-8507 FAX:0774-76-3789 E-mail:glkai@city.kizugawa.lg.jp

印刷／吉岡印刷株式会社  
TEL:0742-26-0737 FAX:0742-26-0738  
E-mail:webmaster@yoshikawa-insatsu.co.jp

PRINTED WITH  
SOY INK  
環境保護のため大豆油インクを使用しています。  
大豆油インクを使用しています。

編集後記  
木津川市の議会だより「創刊号」を、お届けします。手元に届いたら、読んだら議会がよくわかる記事を、と思いながら編集しましたが、創刊号を形にするだけ精一杯でした。  
ぜひ、お読みになつた感想を、お聞かせください。毎号改善しながら、開かれた議会の一端を担えるよう、努力をしてまいります。

広報編集委員会  
委員長 村城 恵子  
副委員長 吳羽 真弓  
委員 伊藤 紀枝  
曾倉 酒炭 島野 真弓  
我 井 本野 紀枝  
千克 弘範 紀枝  
千代子 伊一子 均



戎崎 紗子さん

## 共に生きる

重度障がいをもつ息子は幼稚園へ行くと表情を輝かせる。クラスメイトは癖のある息子の手の動きに慣れ上手に遊んでくれるようになつた。

成し得た成果と思つ。「命」が軽く扱われがちな社会となつた今、生きることに素直で一生懸命な弱者にもっと学ぶべきではないか。共に生きるために素直で一生懸命な弱者にもっと学ぶべきではないか。共に生き理解し、お互いの違いを認め合うことは、心豊かな人間を育て、真の平和へも繋げれると思う。

新しい市になり一年目、何事も初めが肝心といいます。行政では地方自治の原点に立ち、市民第一の視点で施策を見直す。議会は数の論理に走ることなく、良識を持ち審議

津川市は常識の生きる市へ成長することを願っています。又、私達は戦争のない平和な生活が続くことを願っています。それを形あるもので表現されるとを望みます。

最後に周辺部に住む市民として、市の後援や手続きが支所でできるようになります。このような市民に温かい市政を望みます。

## 良識と常識の生きる市政を！



田中 勝男さん

戎崎 紗子さん

お知らせ  
9月定例会は9月10日(月)からはじまります。

木津川市議会だより  
創刊号